

単元名：日本語・韓国語、比較クイズ大会

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年／年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	ことば	言語レベル	3	必要時間数	6時間

I 単元目標

日韓両言語の昔から伝わることわざ・慣用句、また漢字語や外来語等を調べて、ことばの学習の面白さを伝えるクイズ形式のポスター発表をする。またその様子をビデオで撮影し、韓国の交流校に送ったり、ポスターを校内に掲示して、他クラスの人たちに伝える。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
◆日韓両言語のクイズ形式のポスターを作成することができる。 ◆ポスターの内容を口頭で発表することができる。 ◆他のグループが作ったポスターを見たり、発表を聞いて、クイズに答えたり、評価することができる。	◆同じ意味で表現が違うもの(日:顔が広い=韓:足が大きい)や、意味も表現も同じもの、反対の意味を表すもの、独自のものなど、分類しながら、その共通点と相違点、背景について考えることができる。 ◆漢字語・外来語の共通点、違いを見つけることができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。	◆グループの中で役割分担して調べたり、協力してクイズとポスターを作成し、発表することができる。(協働) ◆書籍やインターネットを使って、適切な情報を収集することができる。(情報活用) ◆発表の様子をビデオで撮影し、効果的に編集することができる。(情報活用) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。
コミュニケーション能力指標	【ことば】 3-a. 学んでいる言語の学習でおもしろいことや難しいところなどを、理由を含めて、書くことができる。 3-b. 日本や相手の国でよく使われることわざや慣用句を、聞いて理解したり、その意味を説明したりできる。 3-c. 学んでいる言語の特徴について簡単にまとめた文章を、読んで理解できる。 4-a. 辞書に載っていないことば(新語や俗語など)についてインターネットで調べ、意味を理解できる。 4-c. 日本と相手の国で表現は似ているが意味が異なる、または表現は違うが意味が似ていることわざについて、口頭で説明することができる。 ★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル指標表番号】を表示している。	

Ⅲ 学習活動と評価	
ブレコミニカティブ活動（語彙・表現習得活動）	学習を助けるための評価（形成的評価）
◆日韓のことわざ・慣用句、漢字語・外来語等を収集して比較調査し、類似点・相違点を比較・検討する。【3-b,c/4-c】 ◆グループ内で話し合いながら意味や使われ方を確認し、表にまとめる。【4-a】 ◆クイズを作成し、ポスター発表の原稿を韓国語で作成し、クラス内でクイズ大会を行う。【3-a,b,c】 ★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標	◆日韓のことわざ・慣用句、漢字語・外来語の意味・用途を調べ、類似点・相違点を比較考察し、表にまとめる。（情報量、内容の豊かさ、的確さ、深さなど） ◆クイズとポスターを作成する。（表記の正確さ、楽しさ、面白さ、工夫、創造性など） ◆他グループのクイズに答える。（正解数、聞き取り、自分たちの学習や情報収集の量など） ◆ポスター発表を評価シートで評価する。（クイズの出題量、内容の豊かさ・ユニークさ、他グループからの評価など）。
コミニカティブ活動（学習シナリオ）	
＜場面状況＞ 韓国語のクラスでは、韓国語学習の面白さを後輩たちに伝えるために、昔から伝わる日韓両言語のことわざ・慣用句、最近のネット用語・メール用語などを調べて、クイズ形式のポスターを作成し、発表することになった。 ＜活動の流れ＞ グループ毎に、ことわざ・慣用句班と漢字語・外来語班に分かれて、よく使われるものや興味深いものを書籍やインターネットを使って、情報を収集する。同じ意味で表現が違うもの（日：顔が広い＝韓：足が大きい）や、意味も表現も同じもの、反対の意味を表すもの、独自のものなどに分類しながら、その共通点と相違点、背景についても考えながら、どのようなクイズを作るか話し合う。 表やイラストあるいは写真などを準備し、日韓両言語で、わかりやすく魅力的なクイズ形式のポスターを作成する。またポスター発表時の役割分担も決め、リハーサルしておく。 クラス内でクイズ形式でポスター発表し、他グループの発表の良さと面白度を評価シートで評価する。また、グループごとにクイズの正解数を得点化し、クイズ正解数最多賞グループと、発表最優秀賞グループを決める。 校内の他クラスや後輩たちに見てもらえるよう、ポスターを校内に掲示する。またポスター発表の様子をビデオで撮影し、編集して韓国の交流校に送って見てもらう。 ヒント☞ ◆ポスターに解答を載せず、学年・組・名前欄を書いたクイズ応募用紙と応募箱を一定期間置いて、後日に正解を発表する。正解最多の人を表彰したり、また、最も良いポスターを選んでもらうこともできる。 ◆国内の韓国語クラスのある高校にビデオを送って、見てもらい、クイズに答えたり、評価してもらうこともできる。	
＜目標達成度を測る全体的評価（総括的評価）＞ ◆日韓でよく使われることわざ・慣用句、漢字語や外来語を調査して、その意味や文化的な背景について比較考察し、クイズを考えてポスターを作成する。（表やイラスト等を使っているなどのポスターの見やすさ、わかりやすさ、クイズの面白さ・独創性など） ◆作成したポスターを見せながら、口頭で発表し、ビデオに撮影して交流校に送り、見てもらう。（声が大きい・発音が正しいなどの聞き取りやすさ、発表の仕方や編集の創意工夫度など）	
＜使用教材・教具＞ クイズ解答用紙、ポスター発表評価シート、模造紙、画材、ビデオ	
教室外（人・モノ・情報）との連繋	他教科の内容との連繋
韓国の交流校もしくは韓国語クラスのある国内の高校、後輩や他学年や他クラスの生徒、教師	美術（ポスター）、情報処理（インターネットの活用、ビデオ機器の操作）